

一般質問

市民の声を市政に



議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に28人が登壇

北春日部駅周辺の 土地区画整理事業について



金子 進
議員

現在、北春日部駅周辺地区土地区画整理準備会が立ち上げられ、月1回のペースで役員会を開催し、事業計画の検討等、熱心な議論が展開されています。土地区画整理によって自分の土地がどのように活用され、事業費や減歩率などのくらいになるのかなど関心が高まっています。そこで①事業の進捗状況、②業務代行方式の導入、③市の助成の考え方について伺います。

○都市整備部長

①地権者を主体とした土地区画整理準備会では、今年度8回の役員会と1回の総会を通じ、土地利用計画等を含めた事業計画の検討と業務代行方式の導入を進めてきました。今後は、工事費や保留地販売等の収支を盛り込んだ資金計画を検討し、これらを総括した事業計画を策定し平成31年3月に予定している総会に諮り、3月から4月にかけて事

業計画と組合設立に対する仮同意を取得する予定です。

②現在は、業務代行者の前段階である事業協力者として民間企業の参画を募集し、今月にはプロポーザル審査を実施し、平成31年3月に事業協力者の決定を目指しています。
③多くの市民が利益を享受できる幹線道路などの公共施設に対しては、整備費用の一部を負担していく考えです。

このほか

○平成31年度当初予算の編成について
○春日部市における犯罪被害者支援について

ふるさと応援寄附金の返礼品は適正なものに



松本 浩一
議員

平成20年度から始まった「ふるさと応援寄附金」は、地域の活性化を目的として始まりました。

春日部市では、27年度から返礼品を実施し、30万円以上の寄附者の返礼品のほとんどは総桐たんすでした。28・29年度に送付された総桐たんす

は174件です。

2年間で174件もの総桐たんすを市内で製造することはできません。総桐たんすの協力事業者は、春日部桐たんす組合と、飯島桐箆筒製作所の2カ所です。組合が取り扱ったものがほとんどで、どこで製造されたものかわかりません。組合長はさいたま市に在任し、「市内在住・市内で製造、加工」という要件を満たしていません。総桐たんすは40万円以上でなければ製造できず、30万〜50万円などの寄附者には送付できないはず

です。
伝統的工芸品としての価値を低め、市の信用を失墜させるものです。寄附者に真実を知らせ対応すべきと考えますが、どうですか。

○財務部長

春日部桐たんす組合は協力事業者としても募集するお礼品としても要領に適合しており問題ないと認識しています。

○市長

ふるさと納税の趣旨に適合した内容で進めています。

このほか

○豊野・赤沼地域活性化のために環境センターに温水プールなどの複合施設建設を

放課後児童クラブについて



小久保博史
議員

先日の質疑において、社会福祉協議会が放課後児童クラブの運営から撤退する理由が明らかになりました。私も、今回のこの事態は本当にどうにかならなかったものかと大変残念に思っています。しかしながら、放課後児童クラブを利用して子供たちや保護者が一番望んでいることは、4月以降も現在のクラブ環境が継続され、安心して通えることです。事業者任せにせず、社会福祉協議会の保育内容が確実にトライグループに引き継がれるよう、しっかりとお願いいたします。では実際に、指定管理者が交代となる春休み期間中の保育については、どのように行うのか伺います。

○こども未来部長

3月中の春休み期間は、現指定管理者と新指定管理者による合同保育の実施を求めています。4月1日以降においては、入学

前の新1年生もクラブに登室してきますので、春休み期間中においては、より一層子供たち一人一人に対する保育の配慮が必要となります。このようなことから放課後児童クラブの運営において、これまで培った保育のノウハウが確実に継承され、変わらぬ環境のもと、安心・安全な保育が提供されるよう、トライグループ及び社会福祉協議会に適切な働きかけを行ってまいります。

このほか
○スマホで市民協働事業について



備後放課後児童クラブ

指定避難場所でもある
小中学校の体育館に
エアコン設置を



坂巻 勝則
議員

気象庁は今年の夏の猛暑を「災害」と指摘しました。消防庁の発表によると、5月から9月までに熱中症で救急搬送された方は、全国で95,132人。うち160人の方が亡くなっています。本市でも小中学校での救急搬送が15人に上りました。

国も熱中症対策に乗り出し、2017年に学校体育館には「緊急防災・減災事業債」を使いエアコンの設置が可能と通達を出しました。これは、起債充当率100%で、事業費の70%を国が補助するもので、実質的な市の負担は30%となる大変有利な制度です。

しかし、現時点で2020年度までの緊急制度のため、早急な対応が必要です。

朝霞市では、この事業債を活用し、2017年度から全15校の体育館と武道場にエアコン設置事業を進めており、今年度、小学校3校の体育館

にエアコンが設置されました。エアコンが稼働すると外気温が35度でも体育館の中は25度まで下がりました。

春日部市も、子供たちの命と健康を守るためにも、有利な制度が期限切れになる前に、緊急避難所ともなる体育館にエアコン設置を進めるべきだと思いますが市長の考えを伺います。

○市長
特別教室のエアコン整備に向けて検討を進めていきます。

このほか
○危険なブロック塀の対策は急務

「音楽のまちかすかべ」
をめざすこと



水沼日出夫
議員

平成30年、かれこれ9回目を迎えたわがまちのかすかべ音楽祭。今年も広報かすかべのかすかべ音楽祭2018の特集で、音楽祭の顔ぶれが巻頭をにぎわしました。

音楽祭としての歴史は浅い中で、長期にわたる本市中学生による合唱やマーチングな

どの全国的な活躍も相まって、急速にビッグになってきた近年のかすかべ音楽祭のご自慢やオリジナリティーとしてはどのようなことがありますか。

また、今後「音楽のまちかすかべ」のイメージをブランド化していくにあたり、かすかべ音楽祭に代表されるステイセールズをどのように展開し、定着を図るか伺います。

○総合政策部長

特徴的なイベントの一つとしては「プラス・ジャンボリンかすかべ」があり、自治体主催、運営していることは全国的にも例のないものとなっています。また、「まちかどコンサート」などの関連イベントとの連携を図ることにより、11月は「音楽のまちかすかべ」が体現されている音楽月間となっています。

今後より多くの地域に効果的な情報発信をしていくことでブランド化を目指し、愛着や誇りを育てていきたいと考えています。また、多くの方に本市を訪れていただくために、内容の充実にも努めたいと考えています。

このほか

○空家等リノベーション助成制度について

空家対策について



滝澤 英明
議員

本市でも空家が目立つようになりました。そこで以下伺います。①空家の現状について②空家対策の進捗状況について③空家でも本市の住民サービス（消防・道路整備・防災等）を住んでいる方と同様に受けている持ち主に一定の個人住民税の納付をお願いすべきと考える。私の実家、上田市では個人住民税の家屋敷課税を実施している。この制度の概要と現状について④県内他市の導入について⑤本市での導入について

○都市整備部長
①平成29年7月に実態調査を完了し、空家等の件数は1108件となっております。②春日部市空家等対策計画を平成30年3月に策定し、今後とも同計画に基づき関係部署や関係団体と連携を図り空家対策に取り組んでまいります。

○財務部長
③家屋敷課税は、その年の1

月1日現在で市内に居住可能な独立性のある住宅を有し、その住宅が貸付目的でないこと、市外に住所地を持ち、そこで住民税を課税されている市外在住者に課税を行うもので、上田市では年間16000件程度の課税で収入は約500万円と想定されます。④県内39市中14市で導入しています。⑤今後、課税実績のある自治体の例を参考にしながら課税をする場合の課題の整理に取り組んでまいります。

このほか
○春日部市職員の再任用について

災害時の医療救護について



中川 朗
議員

平成30年は豪雪、地震、豪雨、台風など日本列島が多く、災害に襲われ、尊い人命が失われました。今後30年以内に南関東地域でマグニチュード7規模の地震が発生する可能性は70パーセントとも言われている中、災害発生時の医療救護に対する取り組みとし

て、春日部市災害時医療救護活動マニュアルについて、どのようなものか伺います。

また、今後の春日部市における救護活動について、どのように考えているか伺います。

○健康保険部長

マニユアルでは大規模災害発生後72時間以内の医療救護活動の仕組みを定めており、発生時に市役所内に災害医療本部を立ち上げると同時に市内5カ所に医療救護所を開設することや、医療救護所においてトリアージの実施及び医療救護活動を行うこと、また平時には本部や救護所の環境整備や、医療救護訓練を実施すること等を明記しています。

今後の救護活動については、常に災害による脅威を意識しつつ、万が一に備え、各関係機関との連携のもと、継続して取り組むことが重要と考えています。併せて、災害による被害を最小限に抑える「減災」につながるよう、これらの取り組みを継続的に周知していきたいと考えています。

このほか

○指定管理者制度導入後の図書館運営について
○健康づくり計画・食育推進計画・自殺対策計画について

本市の強みを活かし、時代に即した市のPRについて



栄 寛美
議員

私は、愛するまち春日部市を魅力あふれる「人々から選ばれるまち」にしていきたいと考えます。そこで以下伺います。①第2次シティセールス戦略プランにおける現在の取り組み状況とそのターゲットについて②自治体によるPR動画の公開が盛んで、大きな反響を呼び、成果を得ている自治体もあるが、市の考えは③クレヨンしんちゃんの活用では市内経済活性化になるミュージアムなどが必要と多くの声があるが、市の考えは

○総合政策部長

①春日部のことをよく知らない無認知層に対して市を認知してもらおうことを主眼に、千葉県野田市、東京都足立区、神奈川県海老名市に住む未就学児の子育てをしており、都心に通勤している方、あるいは賃貸住宅にお住まいの方をモニターゲットに設定し、プロモーションを行っていく

ます。

②本市でも4月から5月にかけてPR動画を制作し、映画上映前の広告として流すシネアドや、市の動画チャンネルでの配信を予定しています。

③クレヨンしんちゃんを活用した施設の建設については、場所や規模、実施主体、経費など検討、整理すべき課題が多いため、今後も引き続き双葉社、埼玉県、東武鉄道等、関係者と協議していきたいと考えています。

このほか
○市民との協働のまちづくりについて



公用車について



海老原光男
議員

近年では、さまざまな公共施設において防犯設備が充実しており、防犯カメラでの撮影なども正しい運用を行えば犯罪の抑止効果や証拠映像としての効果が実証されています。また、自動車に設置されたドライブレコーダーにも同様の効果が期待されています。公用車は日々市内のさまざまな場所で運行されていることから、ドライブレコーダーを設置することで、防犯の観点から市民の皆さまの安心安全に寄与できるだけでなく、職員の運転に対する安全意識の向上にもつながるのではないかと思います。こうしたことから公用車へのドライブレコーダーの設置を推進すべきと考えますが、市の考えをお伺いします。

○財務部長
ドライブレコーダーについては、映像の提供や使用に伴うプライバシーの侵害、さら



公用車に設置されているドライブレコーダー

には設置費用や維持管理などさまざまな課題が指摘されていますが、あおり運転などの危険行為や犯罪行為に対する抑止力、状況証拠などに大きな期待が寄せられていることから、その必要性については十分認識しているところでです。

今後は、さまざまな情報の収集を行うとともに、課題の整理を行い、その解消に努めていきたいと考えています。

このほか
○胃がん検診とピロリ菌検査について
○都市計画道路大場大枝線並びに武里内牧線について

プラスチックごみの対応について



鈴木 一利
議員

プラスチックごみの問題が近年大きくなっており、特に海洋プラスチックごみが問題視されています。中でもマイクロプラスチックごみは回収困難であり、生態系や魚を食する人体への影響も大きく懸念されています。春日部市は河川に囲まれた立地ですのでプラスチックごみの河川等への不法投棄・ポイ捨てなどがゆくゆくは海洋汚染につながってまいります。

そこで以下伺います。

①プラスチックごみ問題への周知徹底の必要性について
②プラスチックごみ削減に向けた取り組みについて
③プラスチックごみ削減への春日部市が得る具体的な取り組みについて

○環境経済部長
①これまでの不法投棄やポイ捨てなどを防止する啓発内容に加え、プラスチックごみ問題についても、今後積極的に

周知に努めてまいります。

②ごみ減量化、資源化を進めるためには、環境問題への関心を持つことが重要となるため、「広報かすかべ」により啓発を継続的に繰り返し行い意識の醸成を図っています。

③名古屋市が2019年度から市の啓発グッズに使われるプラスチックを削減すると発表し、本市もこの取り組み内容を検討したいと考えます。

このほか
○プログラミング教育必修化について
○春日部市部活動の今後について

スポーツの力で春日部を元気に！



古沢 耕作
議員

今年度末までに、本市の体育施設整備基本計画が作られる予定ですが、多くの体育施設で老朽化が進んでおり、早急な対応が必要です。

例えば、牛島野球場のスコアボードが以前から故障している、また、各公民館や体育館にある卓球台の損傷が激し

く、早く直して欲しい、などの声を多く聞きますが、この対応策について伺います。

次に、現在本市では中学校の部活動のあり方に関する方針を策定中ですが、運動部についても「休養日」をきちんと確保するべきとの立場からお聞きします。休養日が増えることで、子どもたちにとっては、家族と過ごす時間が増える以外にも、他のスポーツ種目にチャレンジしたり、読書や映画を観て感受性を養う機会も増えます。また、社会問題となっている顧問の先生の負担軽減にもつながります。

そこで、休養日の方向性について伺います。

○社会教育部長
利用者の皆様が安心・安全にご利用できるよう、必要な修繕等を計画的に行っています。今後も優先順位を付け、計画的に施設の整備に努めていきたいと考えています。

○学務指導担当部長
休養日に関しては、お盆時期や年末年始等の学校閉庁日を市内の共通休業日として設ける方向です。

このほか
○小学生の登下校時の見守り活動について

小中学校の水道水の 安全対策について



今尾 安徳
議員

ある小学校の給食室の水道から赤水が出たと伺いました。栄養士や調理師さんたちの献身的なご努力と、学校施設課職員の早急な対応により、現在も安全でおいしい給食の提供ができております。

しかし、現場ではお湯の温度を40度以下に抑えなければならず、調理時・食器洗浄時には、再度の湯沸かしが必要で、調理員さんたちの負担が増えています。

そこで、以下伺います。

- ① 早急な湯沸かしを含む給水管の修繕について
- ② 市内小中学校の老朽化した水道管の計画的な更新について

○学校教育部長

①修繕については、3つの給水系統に区分けして原因箇所の可能性の高い系統から段階的に実施しています。現在、温水ポイラーを経由する温水系統の配管の修繕に着手して

おり、次に給食室棟への屋外系統の給水管の修繕、最後に給食室内の配管系統の修繕を予定しています。

②春日部市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修に合わせ必要な更新を行うことを前提とし、今後も学校と情報を共有して、必要な修繕を行ってまいります。水質管理は重要なことであるため、引き続き適正な維持管理を行いながら、児童生徒の安心・安全に努めてまいります。

このほか

○複合型子育て支援施設の充実に

病児保育について



永田 飛鳳
議員

他市の病児保育の取り組みとして、お迎えに行けないとき保護者に代わり、市の看護師・保育士がタクシーで迎えに行き、病院で受診した後、病児保育施設でお預かりする「お迎え型病児保育」があります。

子育てするワーキングママ

から「病児保育も病後児保育も利用したいけど、手続きで時間が取られるから仕事を休むのと一緒」という声が多く寄せられます。病児保育が浸透しないのは手続きの大変さも関係すると思います。

お迎えのために仕事を早退する必要もなく、病院の診察で仕事の時間を割く必要もない「お迎え型病児保育」が本市でもできないものか伺います。

○こども未来部長

お子様の送迎について本市では、ファミリーサポートセンターや緊急サポートセンターにおいて、事業を行っています。

また、緊急サポートセンターでは、子育てをしながら働いている方のお子様病気がかかったときの預かりや、体調不良など緊急時における保育所の送迎や一時預かりなどに対応する事業もあります。

まずは送迎が必要なご家庭に対しましては、サポートセンター事業の利用を促進していきたいと考えております。また、複合型子育て支援施設における事業の充実については、利用者ニーズを把握しながら今後検討してまいります。

体育館・特別教室の エアコン設置について



木村 圭一
議員

本年11月7日に政府は平成30年度第1次補正予算を可決し、その中で「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」が創設されたと聞いています。

また、朝霞市では緊急防災・減災事業債という有利な起債を活用し、指定避難所となっている小学校の体育館にエアコンを整備する先進的取り組みを行っています。本市でもこのような国・県の交付金や、有利な財源が活用できないか研究していただいた後、有利な財源をもとに、まずは特別教室への設置、そして状況に応じて体育館へ設置できないか、本市の考えを伺います。

○学校教育部長

臨時特例交付金は、普通教室へのエアコン整備が優先的に採択されるもので、現時点での活用は難しいですが、ほかの補助金を活用することができそうです。

体育館は大空間である上に

断熱性が低いなど構造上の問題があること、電力等の供給設備整備に多額の費用を要すること、また省エネルギーや環境負荷の観点も含め検討する必要があります。設置は難しいと考えます。今後引き続き国や他自治体の動向を注視し、まずは特別教室のエアコン整備に向けて検討を進めていきたいと考えています。

このほか

○災害時におけるバイク活用について

○市内の無電柱化について
○24時間利用可能なAEDの設置及び推進について



普通教室に設置されているエアコン

新本庁舎について



山崎 進
議員

現在の市役所本庁舎は昭和45年に建築し、約50年が経過します。2011年の東日本大震災後に行った耐震調査の結果、今後大地震が発生した場合に倒壊の危険があるという結果を受け、旧市立病院跡地に移転、建て替えとなり、旧市立病院の建物を一部利用しながら新築することになりました。今後、100年くらい使用する庁舎ですので、市民の利便性などを考慮して、安心安全な庁舎の建築を願います。そこで以下伺います。

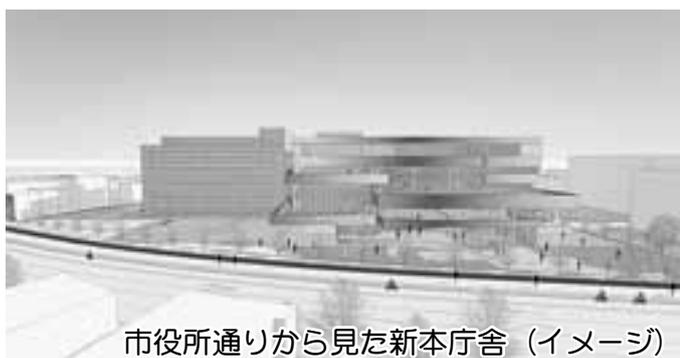
①旧市立病院の東棟を改修し、建て替えることによるコスト削減について
②新庁舎の特徴的な機能となる「まちの commons ペース（市民が活用できるスペース）」の利用方法について

○公共施設事業調整担当部長
①標準的な単価による概算で新築に比べた改修による費用や解体をした場合の工費が

ら、東棟を活用した削減効果は大変大きいものと考えています。②市役所に来られた方の憩いの場、市民の皆様の新しい居場所となるように、土日の開庁やカフェの設置なども検討しています。なお、利用方法については市民の皆様アンケートを行い、その中で音楽コンサートやシティーセールス、農産物直売などの要望を多くいただいています。開催するイベントや貸し出し方法などの運用は実施設計を進める中で検討してまいります。

このほか

○体育施設整備について



市役所通りから見た新本庁舎（イメージ）

国保税の連続値上げをやめ、国保税引き下げを



並木 敏恵
議員

今年から国保税6年連続値上げが始まりました。この影響はいくらか。値上げによって、県内他市と比較して「所得割」「均等割」それぞれ何位になったか、それぞれ県平均はいくらかお示しく下さい。

値上げの根拠は、約14億円の赤字解消計画に基づくものですが、平成29年度決算の「実質」の赤字は約1億円で、連続値上げの根拠はなく、連続値上げは中止すべきです。また、春日部市の均等割は1人5万5800円で県下3番目に高い。県平均は1人約4万円。県平均並みに引き下げ、子どもの均等割は免除すべきです。

○健康保険部長

影響について、改定後は調定額ベースで約6800万円の増額になったものと試算しています。均等割額及び所得割額の県内順位と平均については、国保税は均等割額と所

得割額を合算した額が正確な税額となることから、公平に比較することは難しいです。赤字削減解消計画の対象となる赤字額、約14億円は、県が定めた定義に基づき算出したものです。平成29年度の赤字額は1億円ではなく、約7億5千万円になります。

均等割は応益負担の原則に基づき負担いただく税と認識しています。子どもを対象とした均等割額の減免は、現時点では考えていません。

このほか

○武里団地の再整備は住民の願いを最優先で

芝のサッカースタジアムについて



吉田 稔
議員

「芝のサッカースタジアムの創設を求める請願」が平成28年12月議会において全会一致で採択されて以降の進捗状況を、春日部市体育施設整備基本計画の現状を含めて以下伺います。

①市長公約「国際試合のできる大型サッカースタジアムの

創設を目指す」は、基本計画にどの程度反映されているか
②芝のサッカースタジアムの建設に向けての今後の具体的な流れについて
③芝のサッカースタジアム創設についての市長の考え

○社会教育部長

①現在策定を進めている計画では、ウイング・ハット春日部周辺の今後の整備に関する基本的なコンセプトを「誰もが集い、親しみ、交流が生まれる持続可能な生涯スポーツの推進拠点」とし、計画地に求められる施設として屋外競技場の整備についても検討を行っています。今後は芝のサッカースタジアムの創設も視野に入れ、屋外競技場の機能設備、規模などについても検討を行っています。

②現在策定を進めている計画に基づき、平成31年度からウイング・ハット春日部周辺の整備について具体的な計画の策定に取り組んでいきたいと考えています。

○市長

③子どもたちに夢や希望を与える施設となるよう、今後とも計画的に進めてまいります。

このほか

○予防医療について